

# 2009年度 入試問題分析シート

《速報版》

北海道大学

前期日程

科目

文系数学

総括

試験時間	120分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	150点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

昨年に比べ、難化（一昨年ほどではないが）。

特に②(3)における数列の項の最大値に関する出題、④の展開図から空間図形を考える出題で、とまどう受験生が多かったのではないかとと思われる。

〈特記事項・トピックス〉

- ・空間図形が出題された。
- ・場合の数、確率が出題されなかった。

〈合格への学習対策〉

教科書の説明を、細かい所まで注意深く理解しつつ、標準的な入試問題を確実に解けるようにする。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
①	記述	数Ⅱ	高次方程式 複素数	(1) 解の1つがわかっている高次方程式の文字係数を求める。 (2) 高次方程式の残りの解を求める。	やや易
②	記述	数B	数列	格子点の個数の問題。 (1) 領域内の、直線 $x = k$ 上の格子点の個数。 (2) (1)の結果を一般項とする数列の和。 (3) 数列の項の最大値に関する問題。	やや難
③	記述	数Ⅱ 数B	ベクトル 微分	(1) 3点が一直線上にある条件（共線条件）。 (2) 三角形の面積の最大値（3次関数の微分）	標準
④	記述	数Ⅰ 数B	図形と計量 空間図形	三角錐の体積を、展開図から求める。 空間図形を考える。 (理系①と共通)	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。